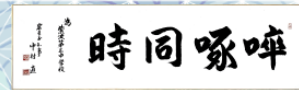




# 校報 あずまね

https://shiwa3.chu.jp



文責 佐藤智一

## タブレット端末でデジタルドリル教材が使えるようになりました

学校と  
家庭で

## ラインズeライブラリアドバンスで学習の習慣化

### A I 型ドリルと解説教材で単元の復習



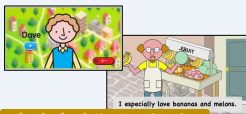
- ・小学校1年～中学校3年まで9学年分
- ・5教科+中学実技 57,000問以上
- ・単元の要点がまとめられた解説教材で授業のふりかえり

### 一人ひとりに最適な教材をナビゲート



- ・子どもたちのドリル学習結果に応じて、「苦手克服のための復習教材」や「得意をのばすための教材」を出題
- ・ドリル学習で取り組んだ内容に関連する教材を出題し、新たな学習のきっかけに

### コミュニケーション能力の素地を養う



- ・短いストーリー形式の動画を再生し、聴き取った情報でワークシートを穴埋め
- ・繰り返し聴くことで英語特有のリズムや発音に慣れる
- ・ネイティブの発音に合わせて発音練習

### 先生から出された課題に取り組む



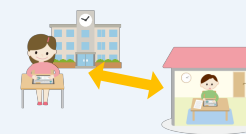
- ・先生から出題された確認テストやドリルなどの課題に取り組む

### 学習履歴からつまずきに再チャレンジ



- ・ドリル学習の履歴から、間違えた問題に再チャレンジして苦手を克服
- ・学習回数に応じて植物が変化するため、達成感やモチベーションアップに
- ※学習回数は、学校で学習した回数も含まれます

### 学習履歴の連携で学びのサイクル定着



- ・学校と家庭それぞれで学習した履歴は連携するため、学校で学習した続きを家庭で取り組むことが可能
- ・授業の復習や課題の続きを家庭学習で

待望のデジタル教材が使えるようになりました。キーワードは「**学びの自立化・個別最適化**」。AI(人工知能)が学習者の成績や学習履歴を分析し、一人ひとりに最適化された学習プランを提示してくれるようになったのです。それが「**アダプティブ・ラーニング**」です。

従来は、みんなが同じ内容を同じ順番で学ぶのが一般的でした。テストも宿題も、みんなが同じものを使っていました。しかし、生徒の理解度や弱点は1人ひとり違います。そのため一律に提供される課題がその生徒にとって最適であるとは言えませんでした。

アダプティブラーニングは、個々の学習進捗や解答の正誤情報などを蓄積・分析することで、一人ひとりの理解度や弱点を発見し、それぞれに合った教材や次に学習すべき内容を自動抽出します。文部科学省の「GIGAスクール構想」で、小・中学生に一人1台の学習者用タブレット端末と高速ネットワーク環境などが整備されました。この目的も、一人ひとりの個性に合わせた教育の実現にありました。一人ひとりに最適化された学びが、教室でも家庭でも提供できる時代になったのです。

この導入にあたって、本校でも教職員向けのガイダンスを急遽行いました。学習の履歴がグラフィカルに表示されたり、学習を進めれば進めるほど、学びの「種」から芽が出て成長させていくことができたりする機能もあり、今時のデジタルネイティブな子供たちにピッタリのアプリだと感じました。そこで早速、2・3年生の学年朝会でガイダンスを行い、このアプリを家庭でも自学自習に使えるよう、**今週末からタブレットを常時持ち帰らせることにしました**。保護者の皆さんにもご家庭でお子さんと一緒にデジタルドリルがどんなものか、実際に試していただければと思います。

AIの機能を使った学習者の成績や学習履歴の分析結果は、学校の授業でも大いに活用したい部分です。例えば、単元の学習前には、デジタルドリルを使った「**診断的評価**」を行い、生徒の実態に応じた指導計画を組み立てて、より効果的な指導をするための準備をします。授業では、単元を指導する過程で目標の実現状況を捉える「**形成的評価**」にも活用できます。教師はその結果に応じて、授業における適切な声かけやフォロー、学習比重の細かい調整などに利用します。単元の目標の実現状況をとらえる「**総括的評価**」にも活用すれば、その後の学習に生かすことができます。このようにデジタルドリル教材は、授業においても生徒一人ひとりに個別最適化された学びを進めるための教師の役割を支援・強化するものとして、大きな力を発揮します。

AIの力を借りれば、自分の力に応じた問題が出題され、効果的に学ぶことで着実に力を伸ばしていくことができそうです。自分のペースで自分流に学ぶことは、その後の個別最適化された生き方、自分流の生き方にもつながるのでは…、などいろいろな可能性を感じています。まずは自分の「種」に芽が出るまで、この週末に取り組んでみて欲しいと思います。

## 1年生へのタブレット端末の配布

入学から1年半が経っても、1年生にだけタブレット端末が配布できない状況が続いています。紫波町全体で保守管理業務が追いついていないようです。そこで先日、教育委員会と相談して臨時的措置に動くことにしました。なんとか不足分を早急に確保し、1年生全員に配布できるよう動きます。もう少しお待ちいただくようお願いいたします。